

国内外のスポーツ報道制作に求められる 高鮮度の情報提供を実現する SilverBullet

北海道を拠点にニュース報道に力を入れる札幌テレビ放送。特にスポーツイベントでは道内外はもとより、オリンピックにも取材クルーを派遣するなど、道民の関心が高い高鮮度の情報をリアルタイムで伝えることを重視している。そうした取材活動を行う上で大きな課題となるのが映像などの素材送りにかかる時間である。その時間短縮への対策を重ねる中で行き着いたのが高速データ転送ソフトウェア SilverBullet だった

課題

- 2007年頃から映像素材の高精細化に伴い、道外・海外など遠隔地からの迅速かつ確実な転送手段の確立が課題に
- これまで素材転送に利用してきたUDPツールが販売・サポート終了したため、その代替となる高速転送手段の獲得が急務に

検討プロセス

- 複数の高速転送製品を対象としたコストパフォーマンス比較・検討
- プロ野球球団の沖縄名護キャンプ取材での素材転送によるテスト実施

導入効果

- 沖縄名護市 - 北海道札幌市間でFTPの3倍以上の転送速度向上
- ソチオリンピック会場 - 札幌本社間で、FTPの約10倍の転送速度を記録
- 朝夕の情報番組へのリアルタイムに近い情報提供を実現



■遠隔地からのHD素材の伝送手段として、高速ファイル転送ツールが必要に

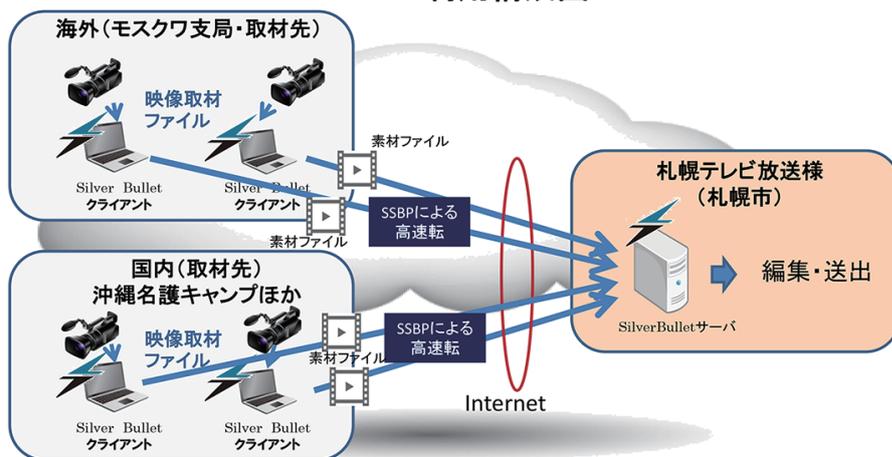
1959年に北海道内の民放テレビとして開局した札幌テレビ放送。

国内最大のニュース系列であるNNNに加盟する同社は、自社の報道制作にも余念がなく、道内外の取材、スポーツ番組などの企画・制作にも積極的に取組んでいる。特に北海道にゆかりのある選手や団体が出場しているスポーツイベントには取材クルーを派遣し、夏季オリンピックでは2008年北京大会から、冬季オリンピックでは2010年バンクーバー大会から現地中継を行っている。また、道内に多数のファンを抱えるプロ野球球団・北海道日本ハムファイターズについては、毎年、プレシーズンである沖縄県名護市での春キャンプからその動静を伝えている。

鮮度が問われるこのような報道の裏では取材した映像素材をいかに現地から本局に早く確実に届けるかという点で常に創意工夫が行われてきた。札幌テレビ放送技術局制作技術部マネージャー長坂清治氏によると、「HD化が進むと共に、プロ野球の沖縄キャンプなど、遠隔地からHD素材を如何に伝送するかが課題でした。そのため2007年頃からインターネットを利用したファイル転送による方法を模索していました」という。当初は、道外や海外などネットワーク遅延の大きい遠隔地からは、FTP転送よりも高速化できる海外製のUDPソフトを使用していた。しかし、「今まで使っていた海外製UDPソフトの販売・サポートが終了となり、新たな高速化できるファイル転送方法を探す必要が生じた」（同）。

札幌テレビ放送株式会社 様

SilverBullet利用構成図



※SSBP=SkeedSilverBulletProtocolの略

■プロ野球球団の沖縄名護キャンプ取材で納得した高速転送性能

様々な手段を検討する上で、東京で開催された放送機器展に同局技術スタッフが訪れ、会場に出展していたSkeedブースに立ち寄り、初めてSilverBulletの存在を認識した。

その後、先立ってプロ野球の沖縄キャンプ取材でSilverBulletの使用上限帯域50Mbpsタイプをテストし、「納得のいく結果が得られた」（同）ため、本番環境へと移行。導入後も同キャンプの取材で使用しているが、「実際に導入したSilverBulletはテスト版よりもさらに高速な使用上限帯域100Mbpsタイプですが、60Mbps以上の転送速度が出ます。沖縄 - 札幌間ではネットワークの遅延は50msecなのでFTPの3倍程度のスピードに留まりますが、国内の素材転送としては十分満足のものです」（同）という。

■情報の鮮度が問われる報道制作において極めて価値のあるデータ転送の高速化

今では、道外・海外の取材活動で広く使われており、特に2014年のソチオリンピックでは威力を発揮したという。「ソチのメディアセンターから札幌本社までネットワークの遅延は200msecもあり、FTP通信では数Mbpsしか出ません。しかし、SilverBulletを使うと常時50-60Mbps、回線状況がよい時は80Mbps以上で転送できました」（同）。映像素材を少しでも高速に転送できることは放送現場において大きなメリットとなる。「ソチではAVCHDファイルフォーマットで約10Mbpsのビットレートで記録していました。このファイルを60Mbpsで転送すれば実時間の6倍の高速化となり、現場の送信側はいち早く送信を終えて次の仕事に取り掛かれるし、本社側も編集にすぐ取り掛かれる。特に当社では朝・夕にワイド情報番組を制作しており、そこにリアルタイムに近い情報を流せることは非常に意味があります」（同）。

札幌テレビ放送では、現在、主にスポーツや報道セクションで、SilverBulletを使用しており、すでに取材には欠かせないツールとして位置付けられている。今後もリアルタイムな情報を速く確実に届けるために、SilverBulletの果たす役割は大きい。



札幌テレビ放送株式会社
技術局制作技術部 マネージャー
長坂 清治 氏



札幌テレビ放送株式会社

本社： 北海道札幌市中央区北1条西8
丁目

設立： 1958年4月8日

資本金： 7億5千万円

人員数： 223名（2015年3月31日
現在）

業務内容： 放送法に基づくテレビジョン
放送